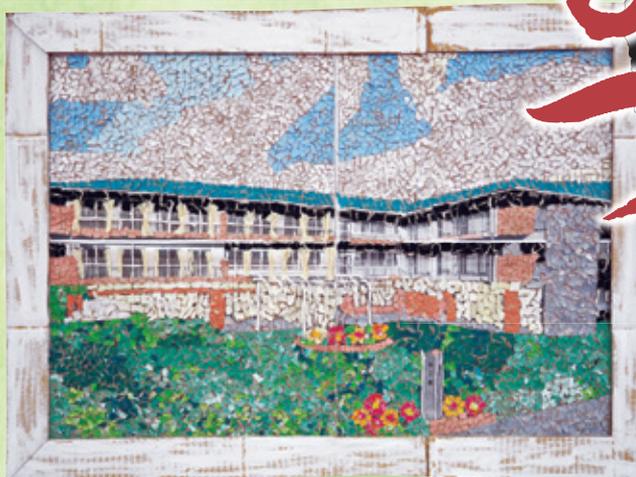


発行日 令和4年2月1日
発行 社会福祉法人 天竜厚生会
発行者 山本 たつ子
編集 総務部 総務課

あかまつ

理事長賞

50周年記念貼り絵
(赤石寮 Cユニットご利用者)



常務理事賞

ひざかけ

(天竜厚生会グループホーム 西田かおり様)



常務理事賞

みんなとっしょはたのしいな
～あそびのしょうかい～
(天竜厚生会子育て関係施設)



常務理事賞

お茶摘み
(百々山 既存2F合同作品)



常務理事賞

さくやちゃん
(しらいと合同作品)



CONTENTS

目次	1	
新年のご挨拶	2	
赤石寮開設50周年を迎えて	3	
しぞーかoliveオイル	4	
3年目職員情報意見交換会を行いました。	4	
内定式を開催しました！	5	
介護福祉士実務者研修・喀痰吸引等研修のお知らせ	6	
施設の活動紹介	7～8	
「第51回施設合同作品展」が開催されました	9	
天竜区の豊かな自然を活かした事業と事業との“つながり”	10	
仕事の魅力紹介	ひとは作業をすることで元気になれる	11
	児童発達支援管理責任者として	11
苦情受付の公表について	12	
善意の皆さま	13～14	
第11回天竜厚生会実践発表会 実践発表動画 2021年度末に公開予定！	裏表紙	
標榜科目追加のお知らせ	裏表紙	

[あかまつ編集後記]

本号では、「第51回施設合同作品展 (p.9)」の記事を掲載しています。昨年度は新型コロナウイルスの影響で開催する事ができませんでしたが、今年度は感染予防策を講じ、開催することができました。ご利用者の作品を是非ご覧いただけたらと思います。

編集委員

新年のご挨拶



理事長
山本 たつ子

明けましておめでとうございます。2021年もいろいろな出来事がありました。第3波、第4波、第5波と押し寄せた新型コロナウイルス感染症は10月以降落ち着きを取り戻しました。しかし、今後も感染が拡大するかは誰にも予測がつかない状態です。国を挙げての対策が必要だと改めて考えております。また、7月に発生した熱海市伊豆山地区土砂災害は、本当に痛ましい出来事であったと感じております。お亡くなりになられた方々に心より哀悼の意を表します。また被災され避難された方々のお心を考えると、いたたまれない思いで一杯です。

当法人においても、特別養護老人ホーム「百々山」において、8月中旬に新型コロナウイルス感染症のクラスター（感染者集団）が発生しました。百々山では、ご利用者、職員とも新型コロナワクチンの2回目接種を終えており、職員全員が日常生活も含めて気をつけておりましたが、ブレイクスルー感染となり、どれだけ注意や予防をしても、完全には感染を防ぐことは難しいということに改めて気づかされました。ご利用者はもとより、ご家族、地域の皆様にご心配をおかけいたしました。クラスター収束宣言となった時には本当に安堵致しました。この事態の中で、百々山職員の冷静かつ落ち着いた行動に感心するとともに、施設で暮らすご利用者の方々への温かな接遇を垣間見た折は本当に嬉しく思いました。百々山の支援にご協力頂いた職員にも感謝しております。このような緊急時に、お互いに助け合える力こそ天竜厚生会の強みであると再認識いたしました。

さて、2021年11月に日本社会事業大学の元学長、神野直彦先生（東京大学 名誉教授）と対談しました。実は、2020年に天竜厚生会創立70周年記念式典での記念講演を神野先生にお願いしていたのですが、新型コロナウイルス感染症拡大のため式典を1年延期し、2021年もコロナ禍に鑑み式典そのものを中止した経緯がございます。しかし、私自身が常

に疑問に感じていた、福祉の時代変化が経済施策に大きく影響されることについて教えていただき、気づけたことなど、学ぶことがとても多かったものですから、職員も含めて多くの方々に神野先生のお話を伝えたい気持ちが強く、今回対談と撮影をお願いした次第です。残念ながら生の講演はできませんでしたが、Webの環境さえあれば誰でも見ることが出来るようホームページにこの対談を掲載しますので、是非ご覧ください。

一方、本年4月には、袋井市に幼保連携型認定こども園子育てセンターにじいろ、児童発達支援事業所そよかぜを開園します。当法人にとっては、19番目の子育て支援施設（受託含む、放課後児童会除く）であり、3番目の児童発達支援事業所となります。袋井市から十分な広さの土地をご用意いただいたので、思い切って平屋造り3棟建てといたしました。全ての保育室は、採光、風通しの良い南側に面した環境となっております。当法人子育て事業の教育・保育理念「感性豊かで「生きる力」をそなえた子供を育てるために」に沿った環境を用意できました。今後は地域の皆様の期待に応えられる教育、保育を実践してまいります。既に基幹となる職員も配置し、開園に向けての準備を進めているところです。

本年の干支は「壬寅（みずのえ とら）」です。壬寅は「陽気を孕み、春の胎動を助く」だそうです。これは、冬が厳しいほど春の芽吹きは生命力に溢れ、華々しく生まれる年になるということです。今年こそ良い年でありますようお願いしております。特にコロナ禍で、ご苦労された多くの人々が希望を持てる年となってほしいと願わずにはられません。

多くの皆様のご支援があってこそ、事業を実施できているところでございますので、引き続きご指導とご支援を賜りたく存じます。本年が皆様方にとって良い年となりますようお願い申し上げます。本年も何卒よろしく願い申し上げます。

赤石寮開設50周年を迎えて



赤石寮
施設長
清水 厚紀

当施設は昭和46年5月に定員50名の精神薄弱者施設として開設しました。その後、時代のニーズに合わせ増床や移転改築を実施し、現在は定員入所90名、生活介護100名の障害者支援施設として運営しています。

そして令和3年5月に当施設は開設50周年を迎えることができました。開設記念日にあたる令和3年5月1日には、ご利用者、ご家族とともに保護者の集いを盛大に執り行う予定でした。しかしながら昨年来流行している新型コロナウイルス感染症の影響により保護者の集いの開催を延期とさせていただき、ご利用者には懐かしい行事や活動の写真を集めたスライドを楽しんでいただきました。当時の様子を懐かしむ表情で見つめ、思い出話を聞かせてくれました。開設時より長きに渡りご利用いただく13名のご利用者にむけて、長きに渡るご利用に感謝して感謝状をお贈りしました。

また、50周年を記念し、記念誌の作成に取り組みました。この記念誌作成に際し、ご利用者の所有する大切な写真をお借りし、当時の思い出をご利用者とともに振り返る事ができました。記念誌のタイトルには、赤石寮の特徴である、静の活動(作業・感覚訓練)と動の活動(散歩等の運動)から『静と動』と付けさせていただきました。赤石寮の思い出として下位初代施設長に執筆を依頼し、思い出とともに職員への励ましのお言葉をいただきました。開設時より大切にしてきた『ご利用者に寄り添った支援』を今後も続けて参ります。

10月30日には延期となった保護者の集いを開催し、ご家族へ50周年のご報告と、赤石寮の変遷についてご紹介させていただきました。また、当施設が取り組む『根拠のある支援』について事例を紹介しながらご説明させていただきました。当日は面会の時間を設けさせていただき、ご利用者は久々のご家族との時間を過ごされました。ご家族におかれましてはコロナ禍におけるご利用者の生活の様子をご確認いただき、ご安心いただければ幸いです。

節目となる50周年を大過なく迎えることができたのは、開設当初から関わってきた多くの職員の尽力や当施設を支えて下さった地域、行政など様々な方のご協力、そして温かく見守って下さったご

家族の皆様のおかげです。50年という歲月の中で頂戴したご支援、ご厚情に深く感謝申し上げますとともに、これからも当施設の運営並びにご利用者に寄り添ったより良い支援に邁進して参ります。今後ともよろしくお願いいたします。



▲赤石寮50周年記念誌『静と動』



▲スライドを見つめるご利用者



▲保護者の集い

しぞーかoliveオイル



みのり
係長
赤堀 有里

ついに当事業所でオリーブオイル搾油しました!!
今年度に、オリーブ畑内に静岡文化芸術大学の学生がデザインした「しぞーかolive」の看板を掲げた搾油所が出来上がりました。搾油所内には昨年度、社会福祉法人清水基金様より助成を受け購入した搾油機を設置し、当事業所で栽培から搾油までの環境が整いました。

10月8日、9日にご利用者、職員総出で収穫です。
10月9日には、商品ラベル製作や商品開発で関わってくださっている静岡県立天竜高校の皆さんもお手伝いしていただきました。

収穫した実は、10月9日朝から選別、搾油機にて粉碎、攪拌、遠心分離を行い、2時間かけ色鮮やかでフルーティーなオイルが搾油できました。

搾油所ができたことにより、収穫後すぐに搾油できるだけでなく、搾油の様子が見学でき、また搾りたてを試飲することができました。今年度は、

天候の影響もあり収穫量が少なかったのですが、早摘みならではの辛味のあるオイルができました。

今後は、多くの方に「しぞーかoliveオイル」を見て収穫し味わっていただきたいと思います。



▲「しぞーかolive」の看板を掲げ、搾油機を整備した搾油所



▲天竜高校の生徒がラベルをデザインしたオリーブオイル

オリーブ商品の購入については、
みのり(☎053-583-1191)へご連絡ください

3年目職員情報意見交換会を行いました。



子育て支援課
保育教諭
寺田 裕多

子育て支援課では、従来より「1年目職員情報意見交換会」を開催していますが、今年度は新たに「3年目職員情報意見交換会」を開催し、16名の職員が参加しました。新任職員研修を経て各園へ配属された後、他園の同期と会う機会が少なく、ゆっくりと話をする機会がないこと、また、3年目職員は保育の中で主体的に動くことを期待される年代となるため、普段の保育状況や悩み、困り事などを共有することで横のつながりを意識して乗り越えていく機会として欲しい、と考え3年目職員を対象に開催することとしました。

意見交換会の中では5グループに分かれて、3年目を迎えて仕事で頑張っていること、悩み、大変なこと、今後に向けた自分の姿や挑戦し



▲意見交換会の様子

たいこと等をテーマに語り合いました。

意見交換会に参加した職員からは、「保育者として、同じ年数従事してきた仲間の現在の悩み、それぞれの園で気になっていること、困っていることなどを共有できてよかった。」「自分の悩みを打ち明けた時に「わかる!」と一言もらえるだけで気持ちが軽くなった。」「皆同じような悩みや考えを持っていることに気づいた。一人ではないと思えて良かった。」「いろんな悩みを抱えながらも皆頑張っているんだなと思い、明日からまた頑張ろうと思った。」など様々な感想が聞かれました。

今後も、法人としての利点を生かし、職員が前向きに楽しく教育・保育ができるような機会を設けていきたいと思っています。



内定式を開催しました!

内定者の皆さん、内定おめでとうございます。

今年、新型コロナウイルス感染症感染拡大に伴い、内定式はフルリモートにて実施しました。本来であれば直接、内定者の皆さんにお会いし、実施する内定式ですが、今年はお預けとなりました。リモートでの実施は行えることが限られていますが、職員からの御祝のメッセージを伝えたり、内定者のみの交流会を開催する等、参加して良かったと思っただけのよう工夫をしました。



次に、皆さんとお会いできるのは入社式です。

入社式当日、お会いできることを職員一同、楽しみにしています♪

内定者からの声をご紹介します!



総合職

出身校：愛知大学
好きなこと：カラオケ

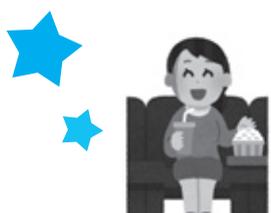
先日の内定式では、役員の方々の話をお伺いし、改めて頑張ろうと気持ちを新たにする機会となりました。また同期となる方々とも交流でき、早く働きたいという意欲がさらに強まり、天竜厚生会の一員として働けることが楽しみです。私は、生まれ育った静岡県で地域の方々の生活を支える事業に携わりたいと思い、天竜厚生会を志望しました。福祉に関する専門的な知識はまだまだ乏しいですが、入社後は業務を通じて多くの経験を積み、自分自身も成長していけるように精一杯頑張ります。

内定式へ参加し、これから一緒に働く方たちと顔合わせや会話をするのができ、不安な気持ちが軽くなりました。私は、中学生の時の福祉体験で天竜厚生会を訪れました。そこで介護職の方がご利用者に対し優しく声をかけ介護をしている姿がとても印象に残ったため天竜厚生会で働くことを希望しました。私もご利用者のニーズに合わせた多面的な介護ができる介護職になりたいです。



介護職

出身校：静岡県立磐田北高等学校
好きなこと：食べる



保育職

出身校：常葉大学短期大学部
好きなこと：映画を観る

内定式に参加したことで、いよいよ夢だった保育職になれる日が近付いてきていると実感しました。内定式での呼名はなぜか緊張していましたが、一緒に内定した方々との交流はとてもワクワクした気持ちでした。こうして内定を頂き、天竜厚生会で働けることに感謝し、支えてくれた家族にも感謝を伝えたいです。これからも感謝を忘れず、たくさんのことに挑戦していきたいです。天竜厚生会での実習で、魅力に感じた保育の在り方を、私も入社後に先輩方から日々学んでいきたいです。明るく常に笑顔を忘れず精一杯頑張りたいと思いますので、ご指導の程よろしくお願い致します。

介護福祉士実務者研修・喀痰吸引等研修のお知らせ

ご興味のある方は、天竜厚生会ホームページをご確認ください。



介護福祉士実務者研修

介護福祉士を目指す方を対象に、介護福祉士実務者研修を開講しています。年に2クール開講のスケジュールになっており、令和3年度は4月から10月までを第1期、6月から12月までを第2期とし、法人内外の介護職員の皆さんにご参加いただきました。

天竜厚生会の実務者研修のポイント

★スクーリングの講師を担当するのは、当法人施設に勤務する係長・主任ケアワーカーや看護師です。実践例に基づく生きた学びを目指しています。

★受講生も様々な施設から集まるため、仕事の意見交換の場にもなっています。

★国家試験受験の為だけの研修ではなく、受講生にとって「実践で役に立つ研修」との声を多く頂いております。



次年度のご案内

日程 【第1期】4月～10月予定/スクーリング：8月～10月
【第2期】6月～12月予定/スクーリング：10月～12月

内容 自己学習の通信レポート提出の後、全8回のスクーリング

対象者 介護福祉士国家資格取得を目指す方に介護の実務経験3年以上程度の方※3年経過していても受講できます。お気軽にご相談ください。

スクーリング会場 天竜厚生会研修センター
〒434-0015 浜松市浜北区於呂4201-6

受講料 無資格者 ¥128,000
初任者研修修了者 ¥96,000
※保有資格によって割引があります。

申込方法 募集開始と同時に、天竜厚生会ホームページ上でお知らせ致します。

受講生の声

○研修で学んだことを、日々の業務の改善につなげることができ、とても良い機会になった。

○研修を通して、新たな知識を得たり、自信のなかった技術を改善できた。介護という仕事へのモチベーションが上がった。

喀痰吸引等研修

介護保険施設や障害者支援施設等で勤務される介護職員等を対象とし、喀痰吸引等研修を実施しております。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大により、喀痰吸引等研修は中止とさせていただきますが、今年度は、講義の一部をオンライン研修として実施いたしました。6月～8月にかけて全9日の研修（講義・演習・筆記試験）を行い、その後受講生が勤務する施設等で実地研修を行いました。

初めてのオンライン研修の導入で、課題もありましたがメリットもあったため今後に繋げていけるよう検討を重ねています。

受講生の声

○グループワークはオンラインでやったことがなかったので、新鮮だった。

○実技が伴う授業は困難だったが、講義は目の前にパソコンがあるので動画なども見やすく便利であった。

○オンラインのため少し質問はしにくかったが、リラックスして受講することができた。

次年度のご案内

日程 6月下旬開始予定

内容 基本研修(免除あり)、実地研修
講義では、喀痰吸引に関する制度や感染予防について、身体のしくみについて、吸引や経管栄養の手技の説明などを行います。

対象者 介護保険施設や障害者支援施設等で勤務する介護職員等
(※受講には条件がありますので詳細は募集要項をご確認ください。)

会場 天竜厚生会研修センター
〒434-0015 浜松市浜北区於呂4201-6

受講料 ¥75,000(基本研修より受講の場合)別途テキスト代、実習費用などあり。

申込方法 募集が開始されましたら、ホームページにて募集要項をご案内いたします。

お問い合わせ先

福祉サービス課 ☎053-583-1123 実務者研修担当：木田 喀痰吸引等研修担当：清水

秋の実り（子育てセンターやまびこ）



浜松市天竜区春野町の地域の方のご厚意で年長児が栗拾いを、年少児がさつま芋掘りを体験させていただきました。栗拾いは昨年度に引き続き2回目の経験となる子どもたち。足で器用にイガを外し、あっという間にかごは栗でいっぱいになりました。

さつま芋掘りには年少児が挑戦しました。長いツルをみんなで力を合わせて引っ張り、さつま芋掘りの前準備から行いました。さつま芋の頭が見えると、両手で一生懸命に土を掘って掘って掘っていき、とても大きなさつま芋がたくさん顔を出してきました。手に持つと想像以上の大きさや重さにびっくりしながらも、自分たちで掘った大きなさつま芋をとても大事そうに抱える子ども達でした。

大きな栗
入ってるかな？



さつま芋
たくさん採れたよ！



敬老週間（龍山デイサービスセンター）

楽しんでくれて
いるかな～？

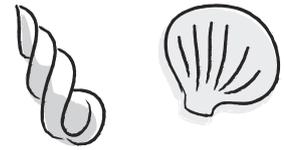


9月20日が敬老の日ということで、赤芽柳、カーネーション、リンドウ、小菊、ゴッドの5種類の花を花屋さんに依頼をし、ご利用者の皆様に敬老のお祝い用に生けていただきました。自分の好みのサイズに枝を切り、見栄えを1つ1つ確認しながら慎重に生けました。生けた花は、ご自宅にお持ち帰りいただき、玄関等に飾っていただきました。敬老週間には職員が考えた龍山版「巨人の星」の演劇、所長・相談員・看護師によるひげダンス、所長作詞の「けいろうのうた」の合唱、ハンドベルの演奏、ご利用者と職員全員でのロックソーランを踊りました。ご利用者から多くの拍手や笑いをいただき、ご利用者も職員もとても充実した時間となりました。

綺麗に
生けているな～



ウミガメ放流会 (すずかけっこ保育園)



ゴミを拾って、
砂浜を
きれいにしよう!

大きくなって
戻ってきてね

年長児が天竜厚生会所有のバスに乗って海岸へ行き、アカウミガメの放流をしてきました。自然保護団体サンクチュアリエヌピーオーの方からアカウミガメは「20年後、みんなが大人になった頃に卵を産みにこの砂浜に戻ってくるんだよ」と聞いた子ども達。子ガメを放流した後、「ゴミを間違えて食べたらお腹が痛くなっちゃうね」「ゴミを拾って帰ろう」と、砂浜に落ちていたゴミを拾って帰りました。命の大切さ、環境を考える機会となりました。

手作りカレーの無料配布! (登呂の家デイサービスセンター)



「毎月楽しみにしているよ!」
と声を掛けて下さり、
少しの間ではありますが、
交流を楽しんでいます。(^o^)



災害用の小型炊き出し器
「まかないくん」を使用して
36人分のカレー作り

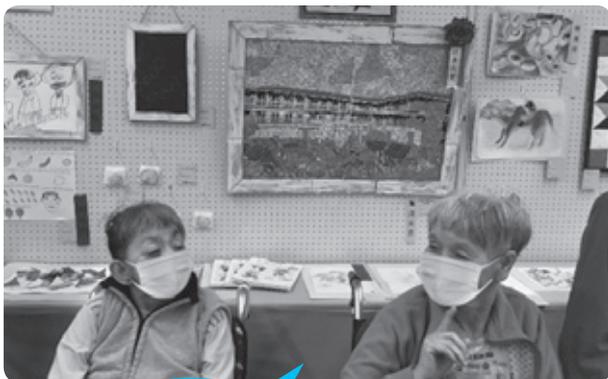
登呂の家デイサービスセンターご利用者と一緒にカレー作りを開始して約5年、月に1回のイベント食開催が恒例行事となりました。現在は新型コロナウイルス感染症予防のため、ご利用者と一緒に調理することはできませんが、職員がカレーを作り、昼食時に提供しています。

感染症拡大予防のために外出自粛を続けなければいけない状況下で、地域で生活されている高齢者の外出機会の確保、外出に伴う身体を動かす機会の確保、食の確保を目的に手作りカレーの無料配布を継続しています。現在は登呂の家の横にあるシルバーハウジングの住人の皆様を対象に配布していますが、今後は高齢者に限らず、地域に住む希望者に対象を拡げていきたいと考えています。登呂の家が地域の一部となり、地域の方が気軽に立ち寄れる施設となるよう、手作りカレーの無料配布以外にも様々な地域交流活動を考えていきたいと思っております。

「第51回施設合同作品展」が開催されました

昨年度は新型コロナウイルス感染症の影響により施設合同作品展は中止となりましたが、今年度は感染予防策を講じ、観覧対象者をご利用者と職員とし、計290点ほどの作品が会場をいろどりました。

また、今年度厚生会まつりは開催中止となったため、会場内に過去の厚生会まつりの写真を展示するコーナーを設けました。ご利用者の中にはかつてを懐かしみながら写真を見ている方もいらっしゃいました。



(理事長賞)
とったよ～

おばあちゃんのお顔
かわいいね



どうやって
作ってあるんだろう



一部の作品については、ホームページ上で公開しています。
こちらからご覧いただけます。 → → → →



お問い合わせ先
福祉サービス課
☎053-583-1123

天竜区の豊かな自然を活かした 事業と事業との“つながり”



地域福祉課
ソーシャルワーカー
大城 俊介

「ふじのくに型学びの心育成支援事業(以下「子ども合宿」という。)」は令和3年度で受託から5年目を迎え、「静岡県生活困窮者等就労準備支援事業(以下「就労合宿」という。)」は4年目を迎えています。前回号(151号)に続き、両事業に毎年ご協力いただいている団体を1つご紹介致します。

当法人が受託している2つの事業では必ず、「ボート体験」をプログラムとして行っています。ボート体験を行うことによって、「人それぞれに役割や存在価値があることを感じていただき、掲げた目標を仲間同士で協力し合い、達成感を分かち合うこと」を目的としています。講師は、浜松市天竜区月にあります天竜ボート場を中心として活動する総合型地域スポーツクラブ「天竜楽漕クラブ」の金指勝行様にご協力いただいております。天竜楽漕クラブの皆様には、事業を委託した平成29年度から継続してご協力いただいております。ご指導だけでなく、ボートに対する熱い想いも語ってくださいます。

浜松市天竜区にお住まいの方は、学生時代に天竜ボート場に立ち寄り、ボートに乗ったことがあると思います。実際に、私も小学生の頃、学校の行事として体験をさせていただき、自然に囲まれた美しい水上を懸命に漕いだ記憶が今でも鮮明に残っています。そのような恵まれた環境下での体験は、事業に遠方から参加して下さる子ども達や大人の方々にとっても好評で、非常に楽しく、かつ有意義な時間を与えてくれます。前述にも記載しました通り、ボートに乗る位置にはそれぞれの役割があると金指様が語ってくれました。「全

体を見渡せるリーダー性」、「周りの動きに合わせることができる協調性」、「周りの動きを立て直す機敏性」等、ボートを漕いで進むには、それぞれが与えられた役割を担った上で初めて、水上を進むことができる事に非常に魅力を感じます。この合宿をとおして、体験をする前は上手に進むことができるか不安を感じていた子ども達から「もっと遠くまで漕げるよ!」、「また来年もボートに乗りたい!」、「ボートと一緒に乗った人と友達になれた!」と体験を終えると前向きな発言を聞くことができます。

今後、事業に参加する子ども達や大人の方々にも、ボート体験を通して、仲間とともにやり遂げた達成感を忘れずに、月日が経っても良い思い出話として語れるような体験になってほしいと思います。

最後に当法人の受託する両事業にご理解とご協力いただいております関係者の皆様には、心より感謝申し上げます。



▲ボートを漕ぎ出す前の指導の様子



▲天竜楽漕クラブの会場「天竜ボート場」と金指様



▲全員で力を合わせて水面を進みます

仕事の魅力紹介

ひとは作業をすることで元気になれる



さいわい
作業療法士
秋山 真理子

作業療法士(以下「OT」という。)は、障がいのある人がその人その人の状態と折り合いをつけながら、生き生きとした生活を送れるよう、仕事、遊び、日常的な生活など、活動(作業)を通してこころとからだを元気にするリハビリテーション(以下「リハビリ」という。)の専門職です。天竜厚生会では、医療、高齢、障がい、子育てといった幅広い分野に作業療法士が関わっています。

OTが指す「作業」は一般的にイメージする手芸などの手先を使った活動だけではなく、食べる事や寝る事、遊び等、普段の生活で行っている全ての活動と活動を達成するまでの過程を含み、OTはご利用者一人ひとりに合った作業を選択し、提供しています。

あかまつの原稿依頼をいただき、改めてOTの魅力を考えてみました。私が感じるOTの魅力は「十人十色」という所です。ご利用者が一人ひとり違うようにOTもそれぞれ個性があり、提供する作業もOTによって異なり

ます。知識や技術だけでなく、経験やひらめきが提供する作業のアイデアになるため、作業にも個性が出ます。そこがOTの面白さであり、魅力であり、他の職種と異なる部分だと思います。自分が提供した作業で普段見る事の出来ない動作や表情を引き出すことが出来た時、OTの仕事にやりがいを感じます。

ご利用者の笑顔が増えるように、ご利用者の今の生活、これからの人生がより豊かになるように、自分自身も磨きながら「こころとからだを元気にするリハビリ」を提供したいと思っています。



▲一緒に作業をしていると、自然と笑顔が溢れます。

児童発達支援管理責任者として



こでまり
保育士
太田 和希

私が所属する「児童発達支援事業こでまり(以下「こでまり」という。)」は子育てセンターかきのみに併設された児童発達支援事業所です。

私は障がいを持つ子どもと関わる仕事に就き4年が経ちます。こでまりでは、児童発達支援管理責任者として保育士とソーシャルワーク業務の役割を担っています。主な業務は、3つあります。1つ目は子どもたちの日々の発達の様子を捉え、職員間での情報共有を行いチームとして子どもたち一人ひとりに沿った個別指導計画書の作成を行うことです。2つ目は、ご家族との面談を含む保護者支援です。ご家族との面談では子どもの様子や支援の方向性を伝えるだけではなく、ご家族の今後のビジョンやご意見を伺い共通理解へと繋げています。3つ目は、他機関との連携です。市の障害福祉課、相談支援事業所と連携し、子ども自身が必要な支援を受けられるよう支援を行っています。また、教育機関や他事業所なども連絡を取り、現状の把握や就学についての相談も行っています。

こでまりで業務をしていく中で、障がいの特性や必要な支援について知識が増え、それと同時に早期の療育の必要性や需要の高さを感じています。

今の仕事の魅力は、様々な人と連携しながら支援を行い、子どもの成長過程をご家族を含めた多くの支援者と共に励まし、喜び合いながら関わることだと感じています。今後も子ども・ご家族に寄り添い、丁寧な支援を行い、暖かく安心できる居場所づくりをしていきたいと思っています。



▲中庭で児童と一緒に昆虫探し!

苦情受付の公表について(定期報告)

原則として、令和3年8月～令和3年11月までに、当法人にいただいた苦情等は次のとおりです。

貴重なご意見ありがとうございました。

◆受付件数 ○法人全体： 89件（うち公表可 49件）

◆主なサービス種別ごとの受付代表事例

《障がい者関係事業》 21件（うち公表可 9件）

施設名： 天竜福祉工場 是正日： 令和3年8月28日

件名： 納品場所間違いについて

ご意見／ご要望の内容： 取引先施設の職員（外部）より、「外来分の枕カバー30枚が見当たらないので、納品されているか確認したい。」との問い合わせがあった。

対応内容： 謝罪し、配送担当への確認と原因究明を行い、是正策を立てていく旨を伝えました。ご指摘いただいた施設では、病棟と外来の計2か所の納品場所があり、今回は外来分の枕カバーを病棟に届けてしまいました。外来分はイレギュラーでシーツ類の発注がありますが、その点について前任の配送担当者からの引継ぎが不足していたことが原因です。今後、配送担当者による納品場所や納品物の確認の徹底、納品物積み込み時の再チェックを行うようにしました。後日、納品した際にもあらためて謝罪しました。

《高齢者関係事業》 26件（うち公表可 16件）

施設名： しらいと 是正日： 令和3年9月28日

件名： 施設の都合で入所待機が継続になった件について

ご意見／ご要望の内容： 申立者より、「空床が出たため入所の調整をしたいという報告を受けたが、その後本人の意向で空床場所への入所が困難となり、短期入所を継続してほしいと施設から連絡があった。一方的な話で選択する余地がなかったため、本人の意向を聞き取った上で家族にも相談してほしい。今までも本人の意向だけでなく、家族の意向も踏まえて病院や施設で過ごしてきたため、今回の状況も踏まえて上司の方からあらためて連絡をいただきたい。」と話があった。

対応内容： ご家族へ連絡する際に、受入体制が十分に整っていない段階で、調整させていただく旨を伝えたことと、当該ご利用者から夕食後にテレビを見たいとの希望がありましたが、今回ご案内するフロアでは環境が整わないため、ご利用者と施設のみで入所の可否を判断したことが原因です。今後は、入所に向けてご本人とご家族の意向を十分に確認した上で、入所の可否を多職種で判断し、入所の調整を行います。

《地域福祉関係事業》 21件（うち公表可 14件）

施設名： 天竜厚生会浜松ヘルパーステーション 是正日： 令和3年8月5日

件名： ヘルパーの対応について

ご意見／ご要望の内容： 申立者より、「昨日来たヘルパーが食器乾燥機の皿を並び変えてしまった。自分が使いやすいように並べてほしい。また、食事を盛り付ける際に、食器を下の方から出して洗わずに盛り付けていた。」と話があった。

対応内容： 申立者宅へ訪問し、謝罪しました。今後は、ご本人に確認いただき、勝手に食器の位置を変えないようにすることと、食器乾燥機にある食器以外の物を使用する際は必ず洗ってから使用することをお伝えしました。

《子育て関係事業》 8件（うち公表可 6件）

施設名： 子育てセンターみゅうのおか 是正日： 令和3年9月27日

件名： 度重なる子どもの衣類の紛失や間違いについて

ご意見／ご要望の内容： 申立者より、「子どもの衣類の紛失や間違いが度重なっているが、園ではどのような方法で衣類の確認をしているのか。状況を教えてほしい。」と話があった。

対応内容： 申立日の数日前に連絡ノートにて申立者から衣類紛失について話をいただいておりますが、一部の職員のみで対応し、園長等との共有ができておらず、申立者に明確な説明ができておりませんでした。また、以前にも衣類の間違いがあったため、申立者に不信感を与えることになりました。紛失した衣類については、園内をくまなく探し、他保護者に確認したが発見できなかったことを申立者に説明し、謝罪しました。今後の対策として、職員2名でダブルチェックしていくことを報告し、ご理解いただきました。また、情報共有についても、園長・副園長への報告は速やかに行い、他職員にもすぐにクラスノートやコミュニケーションノートへ記載します。

受け付けた苦情等は、記載した事例の他にも、以下の天竜厚生会ホームページに掲載しております。

★URL：<http://www.tenryu-kohseikai.or.jp/koukai/complaint/index.html>

【お問い合わせ】
監査指導部 監査指導課
TEL:053-583-1424

善意の皆さま

■ご寄付■■■■■

ありがとうございます

◎ご厚意に沿うべく、大切に活用させていただきます。

★浜名

- ：〈10月〉
- ： 横田 真弓様

★天竜ワークキャンパス

- ：〈10月〉
- ： 株式会社森修焼様

天竜ワークキャンパス

- ：〈11月〉
- ： 株式会社山栄様

■ご寄贈■■■■■

ありがとうございます

◎ご厚意に沿うべく、大切に活用させていただきます。

★さやの家

- ：〈9月〉
- ： 服部 芙美子様

★美浜

- ：〈8月〉
- ： 株式会社ジーアクト様
- ： 浜松カントリークラブ様
- ： エンケイ株式会社様
- ：〈9～11月〉
- ： 坂井モーター株式会社様
- ：〈11月〉
- ： 浜北商工会 女性部様

★天竜厚生会城北の家

- ：〈11月〉
- ： 小島 ひとみ様

★天竜ワークキャンパス

- ：〈11月〉
- ： 浜北区民生委員児童委員協議会 ボランティア部様

■ボランティア■■■■■

◎貴重なお時間を頂きありがとうございました。

＝施設サービス事業部＝

★赤石寮

- ： 近藤 陽太様

★浜名

- ： 老川 裕美様
- ： 野口 めぐみ様

★あかいし学園

- ： 坂口 由衣様
- ： 鈴木 美知瑠様

★清風寮

- ： 鈴木 富江様

★翠松苑

- ： 戸田 さかゑ様
- ： 大野 博志様
- ： 赤佐6区花の会様
- ： 長崎 邦子様

★しんぱらの家

- ： 有谷 まり子様

★天竜厚生会城北の家

- ： 吉田 たい子様

★しらいと

- ： 青山 秀子様
- ： 笠井 喜美子様
- ： 佐野 孔彦様

★くまデイサービスセンター

- ： いちご畑様
- ： 熊幼稚園様

★天竜厚生会浜松デイサービスセンター

- ： 藤崎 真紀子様
- ： 南部マジック会様

＝地域福祉事業部＝

★地域福祉課

- ： 坂口 奈菜様
- ： 山下 侑子様
- ： 青柳 美宇様
- ： 遠山 寧々様
- ： 佐藤 あい様
- ： 鈴木 峻耶様
- ： 亀島 貴郁様
- ： 近藤 栞様
- ： 山口 桃様
- ： 彦坂 心様
- ： 米田 萌実様

… 藤澤 安浩様
 … 天竜高等学校 ボランティア部様
 … 谷口 光平様
 … 細川 風輝様
 … 杉山 和也様
 … 渡邊 未菜様
 … 時田 典加様
 … 増田 萌様

＝子育て支援事業部＝

★子育てセンターすぎのこ

… お話の会様
 … 小倉 啓子様
 … 宮地 武夫様

★子育てセンターやまびこ

… 島 全良様
 … 酒井 まち子様
 … お話の会様

★子育てセンターこまつ

… 北嶋 史雄様

★子育てセンターきぶね

… 荻野 宗子様
 … 保護者ボランティア様
 … 貴布祢四区壮友会 代表者 竹田様
 … 西村 晴子様

★子育てセンターしばもと

… はまきた食育の会様

★子育てセンターしんぱら

… 長崎 邦子様
 … 鈴木 静代様
 … 折金 早苗様
 … 木下 和明様
 … ひらまつファーム様
 … 阿部 裕太様
 … 高林 徹様
 … 名倉 敬浩様
 … 河合 千洋様
 … 田邊 定広様
 … 竹内 博之様
 … 足立 達哉様

★子育てセンターなかせ

… 荻野 宗子様
 … 保護者ボランティア様
 … 河合 明秀様

★子育てセンターかきのみ

… 太田 礼子様
 … 大石 泰成様
 … 佐藤 心海様
 … 田中 小紘様
 … JAとぴあ浜松 中瀬支店様
 … 中瀬5区自治会長 大城 正利様

★子育てセンターみゅうのおか

… お話の会様

★子育てセンターさやのもり

… 梅田 昭好様
 … 掛西学園ボランティア様

★子育てセンターひだまり

… サマーショートボランティア様
 … 櫻井 節子様
 … 鈴木 金雄様
 … 園児保護者様
 … 落合 賢次様

★子育てセンターとものもり

… 井口 廣之様
 … 中村 一雄様
 … 平尾 紘様
 … 樹山 俊博様
 … おはなしのたね掛川様

★子育てセンターみなみしま

… 鈴木 美帆様

★子育てセンターとみがおか

… 高木 正樹様
 … 高木 ひろ子様
 … 静岡産業大学様
 … えほんを楽しむ会様
 … 井口 君夫様
 … 鈴木 幸次様
 … 北島 忠明様

★すずかけっこ保育園

… 鈴木 由郎様
 … おはなしのたね掛川様

★なぎさ保育園

… 静岡県子ども読書アドバイザー 青島 智深様
 … 野遊び塾 塾長 佐々木 善之様

★やまびこ児童クラブ

… 島 全良様

★天竜厚生会ひまわり保育園

… 坂口 公司様
 … 渡邊 留美様

第11回天竜厚生会実践発表会 実践発表動画 2021年度末に公開予定!

静岡県全域で展開している天竜厚生会の事業を6分野（障がい、高齢、子育て、医療、就労、事務職）に分けて各事業所の職員が紹介します！

各事業所が取り組むSDGs（持続可能な開発目標）についても発表予定です！

「福祉」の業界で働く職員の「実際」を大公開！乞うご期待！！



社会福祉法人

天竜厚生会



ホームページ・YOUTUBEにて公開予定

お問い合わせ先

福祉サービス課 ☎053-583-1123



標榜科目追加のお知らせ

天竜厚生会診療所では新たに「脳神経内科」を標榜科目に追加いたしました。

脳神経内科では、脳や脊髄、神経、筋肉に病気があり、体が不自由になる病気を診察しています。脳神経内科でどのような病気か診断し、脳神経内科以外での治療や検査が必要な病気の場合は適切な科にご紹介します。



医師の紹介

宮嶋 裕明

日本神経学会認定神経内科専門医・指導医
日本認知症学会専門医・指導医

天竜厚生会診療所

浜松市天竜区渡ヶ島221
☎053-583-1181 FAX.053-583-1265

